

お詫びと訂正

第53巻2号に脱落がありました。著者および関係者の方にご迷惑おかけ致しました。お詫びして訂正致します。

脱落箇所は157ページの本文18行目です。「カラー写真、図版がなどは・・・」の部分で「図版が」と「などは」の間の文章が15行にわたって脱落していました。以下に前後の段落とともに該当箇所を掲載致します。

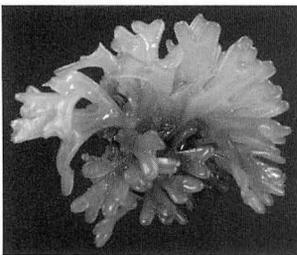
ギャラリーに入るとまず、壁面に映し出されたクラゲの映像、そして対面にはパネルにして壁一面に並べられた琵琶湖の微生物の光学顕微鏡写真が目に入る(写真1)。やはり自分の仕事柄、こっちの方が気にかかる。このパネルはインテリアとしてもいけそうだが、展示終了とともに全て片付けられるそう。幾分、もったいない。

続いて、分類群ごとにプランクトンの説明の書かれた展示があり(写真2)、そこに置かれていた本に全員反応(写真3)。『やさしい日本の淡水プランクトン』(一瀬 論・若林徹哉 監修、滋賀の理科教材研究委員会編)。小学生から、あるいは大学生でも使えるであろう、わかりやすい淡水プランクトン入門書といったような本である。カラー写真、図版が982点も掲載されている。7人全員購入した。後日談だが、自分は最近寝前に読んでいる。動物・植物問わずプランクトンの光学顕微鏡写真を見ているだけでも面白い。これから淡水プ

ランクトン観察時には「座右の書」にしようと思う。

次は妖怪とプランクトンが対比されているコーナーを案内してもらった。若年層に人気のありそうなコーナーだ。口の部分を伸ばして捕食する繊毛虫ラクリマリアはろくろ首、スナワムシは一本だたら・・・など、よく知られている妖怪とプランクトンの対比がなされていた。大塚さんの説明によると人間の想像力の産物は結局、自然にあるものを越えないのではないか、というようなことだった。

そして根来先生の記念コーナーへ(写真4)。ガラスケース内に、スケッチやノートなどが陳列されてあった。スケッチ、ノート、共にとても丁寧に几帳面に書かれていた。スケッチなどは写真よりも形態の特徴を良く捉えており、後に見られることを考えたような文字やスケッチである。先人の功績に心中で合掌。



種名：コメノリ *Polyopes prolifera* (Hariot) Kawaguchi et Wang

撮影日：2005年4月25日

採集地：三重県志摩市志摩町麦崎

撮影者：岩尾豊紀(三重大学大学院 生物資源学研究所)

コメント：潮間帯上部の岩の上、そこかしこに陽に照らされてエメラルドのように輝くコメノリが生えていたので採ってきました。写真ではわかりませんが、もえぎ色ともモスグリーンとも少し違う、ぷりぷりとした美しい海藻です。

賛助会員

- 北海道栽培漁業振興公社 (060-0003 北海道札幌市中央区北3条西7丁目北海道第二水産ビル4階)
 阿寒観光汽船 株式会社 (085-0463 北海道阿寒郡阿寒町字阿寒湖畔)
 全国海苔貝類漁業協同組合連合会 (108-0074 東京都港区高輪 2 - 16 - 5)
 有限会社 浜野顕微鏡 (113-0033 東京都文京区本郷 5 - 25 - 18)
 株式会社 ヤクルト本社研究所 (186-8650 東京都国立市谷保 1769)
 神協産業 株式会社 (742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962 - 1)
 理研食品 株式会社 (985-8540 宮城県多賀城市宮内 2 - 5 - 60)
 マイクロアルジェコーポレーション (MAC) (104-0061 東京都中央区銀座 2 - 6 - 5)
 (株) ハクジュ・ライフサイエンス (173-0014 東京都板橋区大山東町 32 - 17)
 (有) 祐千堂葛西 (038-3662 青森県北津軽郡板柳町大字板柳字土井 38 - 10)
 株式会社 ナボカルコスメティックス (151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5 - 29 - 7)
 日本製薬 株式会社 ライフテック部 (598-8558 大阪府泉佐野市住吉町 26)
 共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目28 札幌エルプラザ11階)

海産微細藻類用培地

<特徴>

- ◎ 多様な、微細藻類に使用できる。
- ◎ 手軽に使用できるので、時間と、労力の節約。
- ◎ 安定した性能。
- ◎ 高い増殖性能。

海産微細藻類用 ダ仔 IMK培地

- ・ 100L用×10 コード：398-01333
- ・ 1000L用×1 コード：392-01331

海産微細藻類用 IMK培地添加人工海水 ダ仔 IMK-SP培地

- ・ 1L用×10 コード：399-01341

海産微細藻類培養 ダ仔 人工海水SP

- ・ 1L用×10 コード：395-01343

「多くの微細藻類に共通して使える培地が市販されていない。」
 という声にお答えして、“株式会社 海洋バイオテクノロジー-研究所”
 により、研究開発された培地です。

又、人工海水は海水 SP の成分が自然に近い形で混合されてお
 り、精製水に溶かすだけで海水として手軽に使用できます。

※人工海水 SP は千寿製薬株式会社の技術提携商品です。

製造  日本製薬株式会社 ライフテック部
 大阪府泉佐野市住吉町 26 番
 〒598-0061 TEL 0724-69-4622
 東京都千代田区東神田一丁目 9 番 8 号
 〒101-0031 TEL 03-3869-9236

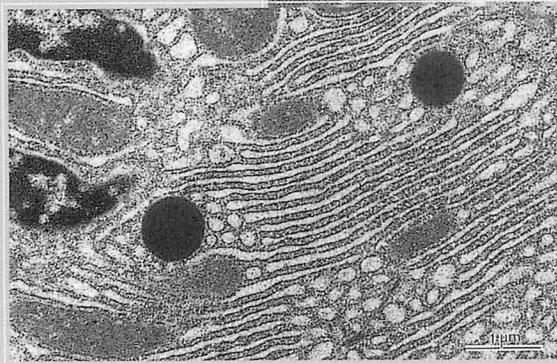
販売  和光純薬工業株式会社
 大阪府中央区道修町三丁目 1 番 2 号
 〒541-0045 TEL 06-6203-3741
 東京都中央区日本橋四丁目 5 番 13 号
 〒103-0023 TEL 03-3270-8571

HITACHI

オートフォーカスOFF



オートフォーカスON



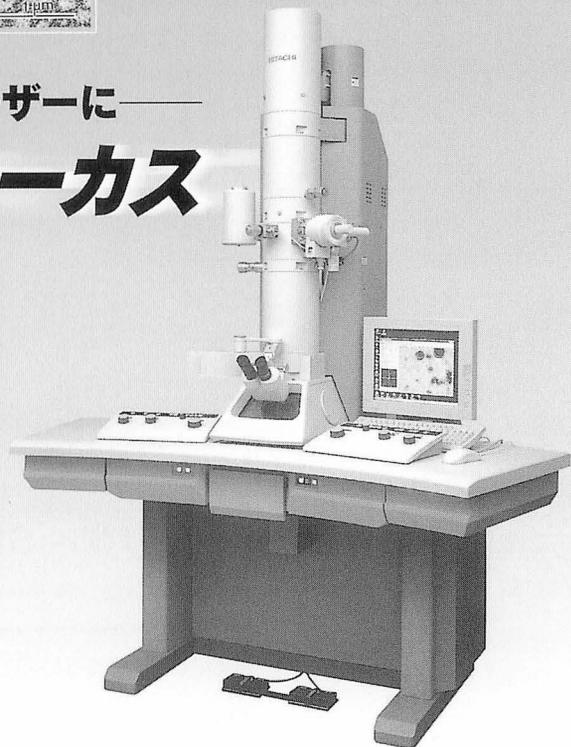
すっきり画像をすべてのユーザーに—— 高速オートフォーカス

特長

- 1 高速オートフォーカス機能を搭載し、0.9秒で焦点合わせが可能
- 2 TVカメラを標準装備し、明るい部屋で試料の視野探し撮影が可能
- 3 PC制御、GUI採用により、容易な操作
- 4 ネットワーク対応でリモート操作が可能 (オプション)

仕様

分解能：0.204nm(格子像)、0.36nm(粒子像)
試料ステージ：高精度ハイパーステージ
加速電圧：40~120kV
倍率：Low Magモード×50~×1,000
Zoomモード×700~600,000



株式会社 日立ハイテクノロジーズ

本社 〒105-6717 東京都港区西新橋一丁目24番14号
電話ダイヤルイン (03) 3504-7211

事業所	北海道(札幌)	(011) 221-7241	関西(大阪)	(06) 4807-2551
	東北(仙台)	(022) 254-2211	京都(京都)	(075) 241-1591
	筑波(土浦)	(0298) 25-4811	四国(高松)	(0878) 62-3391
	横浜(横浜)	(045) 451-5151	中国(広島)	(082) 221-4514
	中部(名古屋)	(052) 593-5851	九州(福岡)	(092) 721-3501
	北陸(金沢)	(0762) 63-3480		

インターネットホームページ <http://www.hitachi-hitec.com/science/>

日立電子顕微鏡

H-7600

新刊

淡水珪藻生態図鑑

群集解析に基づく汚濁指数 DA_{Ipo}, pH 耐性能

渡辺 仁治 編著 浅井一視・大塚泰介 著 B5判上製・総頁 784 頁・定価 34650 円
辻 彰洋・伯耆晶子

日本のみならず世界各地から約 1500 のサンプルを採集。膨大なサンプルの生態情報を処理検討し、約 1000 種の珪藻についてその結果を分かり易くまとめる。生態情報の妥当性を期するため、すべてのサンプルを統一条件下で採集し、好清水か好汚濁か=きれいな水を好むのか、汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を、多くの図版で具体的に示す。

総論 珪藻研究の歴史/環境指標としての珪藻群集/湖沼、河川共通の水質汚濁指数 DA_{Ipo}/珪藻の生活様式/試料の採集/試料の処理と検鏡/形態(種の同定に関わる特性要素) 写真編 I 中心目(Centrales)の分類 II 羽状目(Pennales)の分類 II A 無縦溝亜目(Araphidineae)の分類 II A ディアトマ科(Diatomaceae) II B 有縦溝亜目(Raphidineae)の分類 II B₁ ユーノチア科(Eunotiaceae) II B₂ アクナンテス科(Achnantheaceae) II B₃ ナビクラ科(Naviculaceae) II B₄ エピテミア科(Epithemiaceae) II B₄ ニチア科(Nitzschaceae) II B₅ スリレラ科(Surirellaceae) 学名総索引 事項索引

有用海藻誌

海藻の資源開発と利用に向けて

大野 正夫 著

B5判・総頁 592 頁・定価 21000 円(本体 20000 円+税 5%)

本書は海藻の生物学の解説にはじまり、応用の具体的事例を数多く紹介するとともに、今後期待される新分野、機能性成分についても現在得られている知見を盛り込む。生物学編、利用編、機能性成分編の3編31章から構成され、それぞれの分野で、長く研究にかかわってきた執筆者が、専門の分野を詳述する。

新日本海藻誌

一・日本産海藻類総覧一

吉田 忠生 著

B5判・総頁 1248 頁・定価 48300 円(本体 46000 円+税 5%)

本書は古典的になった岡村金太郎の歴史的大著「日本海藻誌」(1936)を全面的に書き直したものである。「日本海藻誌」刊行以後の約 60 年間の研究の進歩を要約し、1997 年までの知見を盛り込んで、日本産として報告のある海藻(緑藻、褐藻、紅藻)約 1400 種について、形態的な特徴を現代の言葉で記載する。植物学・水産学の専門家のみならず、広く関係各方面に必携の書。

藻類多様性の生物学

千原 光雄 編著

B5判・400 頁・定価 9450 円(本体 9000 円+税 5%)

第1章 総論 第2章 藍色植物門 第3章 原核緑色植物門 第4章 灰色植物門 第5章 紅色植物門 第6章 クリプト植物門 第7章 渦鞭毛植物門 第8章 不等毛植物門 第9章 ハプト植物門 第10章 ユーグレナ植物門 第11章 クロララクニオン植物門 第12章 緑色植物門 第13章 緑色植物の新しい分類

淡水藻類入門

淡水藻類の形質・

種類・観察と研究

山岸 高旺 編著

B5判・700 頁(口絵カラー含む)・定価 26250 円(本体 25000 円+税 5%)

「日本淡水藻図鑑」の編者である著者がまとめる、初心者・入門者のための書。多種多様な藻類群を、平易な言葉で誰にも分かるよう、丁寧に解説する。I編、II編で形質と分類の概説を行い、III編では各分野の専門家による具体的事例 20 編をあげ、実際にどのように観察・研究を進めたらよいかを理解できるように構成する。

小林珪藻図鑑

近刊

小林 弘 著
南雲 保・出井雅彦・真山茂樹・長田敬五

藻類の生活史集成

堀 輝三 編

- 第1巻 緑色藻類 B5・448p(185種) 定価8400円
- 第2巻 褐藻・紅藻類 B5・424p(171種) 定価8400円
- 第3巻 単細胞性・鞭毛藻類 B5・400p(146種) 定価7350円

日本の赤潮生物

一写真と解説一

福代・高野 共編
千原・松岡

B5・430p・定価 13650 円

原生生物の世界

細菌、藻類、菌類と原生動物の分類

丸山 晃 著

丸山雪江 絵

B5・440p・定価 29400 円

日本淡水藻図鑑

廣瀬弘幸・山岸高旺 編集

B5・960p・定価 39900 円

陸上植物の起源

一緑藻から緑色植物へ一

渡邊 信 共訳
堀 輝三

A5・376p・定価 5040 円

表示の価格は税込定価(本体価格+税5%)です。

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-34-3
TEL 03-3945-6781 FAX 03-3945-6782

内田老鶴園

2006年より編集委員会が移ります。今後は和文誌藻類への投稿は下記にお願い致します。

送付先：〒305-0005 つくば市天久保4-1-1

国立科学博物館植物研究部

北山太樹 編集委員長

Tel : 029-853-8975, Fax : 029-853-8401

E-mail : kitayama@kahaku.go.jp

編集後記

私たちの研究室で運用しているホームページ上の三重県海藻写真集が、世界遺産に指定された熊野古道のセンターで資料集として使われることになりました。写真はすべて我々の研究室で写したもので、著作権は我々の研究室にあります。これらの資料を他の機関で使うにあたって、いろいろ勉強させられました。なお、和文誌「藻類」で使われる図版の著作権はすべて藻類学会に属します。(M.M.)

多数の誤字脱字や編集作業の遅れなど、学会員の皆様や印刷所には多大なるご迷惑をおかけいたしました。ここで、改めてお詫び致します。それでもなんとか任期満了が近づき安心しているときに、就職活動中の学生と一緒に職業適性を調べてみました。結果は「編集者」。まったくあてになりません。(A.K.)

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格, 各号, 会員1,750円, 非会員3,000円; 30巻4号(創立30周年記念増大号, 1-30巻索引付き)のみ会員5,000円, 非会員7,000円; 欠号1-2巻, 4巻1, 3号, 5巻1, 2号, 6-9巻全号。「藻類」バックナンバーの特別セット販売に関しては本誌記事をご覧下さい。
2. 「藻類」索引 1-10巻, 価格, 会員1,500円, 非会員2,000円; 「藻類」索引11-20巻, 価格, 会員2,000円, 非会員3,000円, 創立30周年記念「藻類」索引1-30巻, 価格, 会員3,000円, 非会員4,000円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類25巻増補, 1977, A5版, xxviii + 418頁。山田先生の遺影, 経歴・業績一覧・追悼及び内外の藻類学者より寄稿された論文50編(英文26, 和文24)を掲載。価格7,000円。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I.A.Abbot・黒木宗尚共編, 1972, B5版, xiv + 280頁, 6図版。昭和46年8月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で, 20編の研究報告(英文)を掲載。価格4,000円。
5. 北海道周辺のコンブ類のと最近の増養殖学的研究 1977, B5版, 65頁。昭和49年9月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4論文と討論の要旨。価格1,000円。

2005年 11月 5日
2005年 11月 10日
© 2005 Japanese Society of Phycology
日 本 藻 類 学 会

編集兼発行者 前川行幸
〒514-8507 三重県津市上浜町1515
三重大学生物資源学部
Tel & Fax 059-231-9530

禁 転 載
不 許 複 製

印刷所 株式会社東プリ
〒144-0052 大田区蒲田4-41-11
Tel 03-3732-4155
Fax 03-3730-8286

Printed by TOPRI

発行所 日本藻類学会
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学内海域環境教育研究センター
Tel 078-803-5781
Fax 078-803-5781

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôru)

第53巻 第3号 2005年11月10日

目次

日本藻類学会第30回大会のお知らせ ー鹿児島・2006ー

吉田忠生・高田 智・吉永一男・中嶋 泰：日本産海藻目録（2005年改訂版）・・・・・・・・・・179

山砥稔文・坂口昌生・岩滝光儀・松岡数充：長崎県薄香湾における有害渦鞭毛藻 *Cochlodinium polykrikoides* の出現密度の季節変化と増殖特性・・・・・・・・・・229

短報

桐原 慎二・藤田 大介・能登谷 正浩：陸奥湾におけるウミヒルモの生育記録・・・・・・・・・・237

藻場の景観模式図

寺脇利信・新井章吾：20. 北海道厚岸郡浜中町地先のチェーン曳き事業地・・・・・・・・・・241

藻類学最前線

富谷朗子：ポストゲノム時代に入ったシアノバクテリア研究・・・・・・・・・・245

吉川伸哉：クラミドモナスで発見された古細菌型ロドプシンと光信号伝達・・・・・・・・・・247

英文誌 Phycological Research 53(2) 掲載論文和文要旨・・・・・・・・・・250

学会録事・・・・・・・・・・253

書評・新刊紹介・・・・・・・・・・253

学会・シンポジウム情報・・・・・・・・・・254

第12回 有害藻類に関する国際会議
会員異動・・・・・・・・・・255